

Weekly Report

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日

幹 長：亀井 直人

例 事：鳥山 政明

会 務 委員 長：杉山 裕一

例 日：毎週木曜日 PM12:30～

会 場：ヒルトン名古屋

2025-26年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ
「瑞穂ロータリーを理解し、そして楽しもう!」

2025-26年度
国際ロータリーのテーマ
よいことのために手を取りあおう

第2138回例会

～母子の健康月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2025年7月10日(木) 晴 第2回例会

司 会：星野一郎 会場委員長
齊 唱：「我らの生業」
ゲ ス ト：米山奨学生：Hettiarachchi Minoli Raveesha さん

会長挨拶

亀井直人会長

皆さん、こんにちは。今日は七夕の季節にぴったりのテーマ、「天の川」について少しお話させていただきます。皆さんは、最近いつ天の川を見ましたか？空気が澄んだ夏の夜、ふと空を見上げると、白く淡い帯のような光が東から南に流れている。あれが、私たちのよく知る「天の川」です。



でも、あの天の川あれは「銀河系」つまり、私たちが住む宇宙を内側から見た姿です。天の川、銀河と呼ばれる直径約10万光年の円盤状の星の集まり、その中心部を横から見ているため、星がぎゅっと集まり、光の帯に見えるそうです。

この銀河には、太陽のような恒星が1000億個以上もあるといわれています。私たちはその一つにたった小さな惑星、地球に生きている。そう思うと、夜空の天の川は「宇宙の真ん中からのぞいた世界の地平線」とでも言えるかもしれません。さて、そんな科学的な天の川ですが、人々の心の中では昔から、もっとロマンチックな意味を持ってきました。

ご存知、七夕の伝説。中国の「牛郎織女伝説」がもとになっており、天帝の娘・織姫と、真面目な牛飼いの彦星が恋に落ちるも、二人が夢中になるあまり仕事を怠け、神様に怒られて、天の川の両岸に引き離されてしまう。けれど哀れに思った神様が、年に一度、7月7日だけの再会を許す……という話です。

これが奈良時代に日本に伝わり、「七夕(たなばた)」として定着しました。平安時代の貴族たちは、七夕の夜に歌を詠み、星に願いを託しました。江戸時代になると、庶民の間でも七夕は行事となり、短冊に願い事を書く風習が生まれました。

ところで、天の川は日本だけのものではありません。ギリシャ神話では、女神ヘラの母乳がこぼれて天に流れたものが天の川になったとされますし、北米のネイティブアメリカンには「魂が旅する道」として語られたり、アフリカでは空の川、オーストラリアでは巨大な天の蛇とされるなど、世界中で「特別なもの」として大切にされてきました。しかし最近、都市の光が強すぎて、天の川を見る機会が減っています。空気の澄んだ周りに光のない場所で夜空を見上げると本当にきれいで心洗われる様な気がします。

「川」という事でふと思い出しました野坂昭如さんをご存知でしょうか。もう亡くなっていますが「火垂るの墓」の作者です。その方が歌われた「黒の舟唄」という1972年の歌です。歌詞は「男と女の間には深く暗い河がある 誰にも渡れぬ河なれど エンヤコラ今夜も舟を出す」から始まります。いい歌です。若い方は知らないと思います。

YouTubeで聴けますので一度聞いてみてください。この歌を聴きながら天の川をみると見え方が変わるかもしれません。

出席報告

横山請悟 出席委員

会員69名 出席51名 (出席計算人数58名)

出席率 80.95%

ニコボックス

横山請悟 ニコボックス委員

- ・ 妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。 関谷 俊征さん
- ・ 太陽がん、無事に治りました。皆様にご心配かけてすみませんでした。 鈴木 伸一さん
- ・ 本日、会長エレクト卓話をさせていただきます。よろしくお祈りします。 森 裕之さん
- ・ 猛暑お見舞い申し上げます。 野崎 洋二さん
- ・ ダイビングクラブで宮古島行ってきました。楽しかった～!! 鈴木健司さん 段取りありがとうございました!! 参加の皆さんお疲れ様でした。 湯澤 信雄さん
- ・ ダイビング同好会の皆さん、宮古島では、大変お世話になりました。楽しい時間をありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。 北岡 寿人さん
- ・ 先日は岩田さんはじめ、皆様にご大変お世話になり、ありがとうございました。 本多 誠之さん
- ・ 昨日、半年ぶりにゴルフをしました。楽しかったです。 鈴木 淑久さん
- ・ 森会長エレクト卓話 楽しみにしています。 亀井 直人さん 村上 学さん 内藤 晶文さん 杉江 建亮さん 加藤 直大さん

幹事報告

鳥山政明幹事

- ・ 7/10(木) 13:40～ 第1回理事会・クラブアッセンブリー ヒルトン4F「美杉の間」
- ・ 7/17(木) R規定により休会
- ・ 7/24(木) ※軽食予定 12:30～第1回クラブフォーラム(決算・予算) ヒルトン4F「桜の間」
- ・ メールボックスに会員名簿を配布しております。最後のページに管理番号がありますので、取り扱いにはご注意ください。 ※訂正:P13 歴代会長及び幹事一覧 46代→47代に変更お願いします。
- ・ 今年度出席扱いについて。上期は引き続き昨年同様、自動メーキャップとさせていただきます。下期はホームクラブ例会出席30%以上で運用。また、連続4回欠席に至らない運用も併せて行っています。

奨学金授与

Hettiarachchi Minoli Raveeshaさん



委員会・同好会報告

グルメ同好会

7月になりましたので、グルメ同好会も新年度を迎えました。メールボックスへ、グルメ同好会の決算書を入れさせていただきました。しばらく活動していませんでしたが、6月末に決算をしました。7月から改めて会員の皆様に会費を請求させていただきたいと思っております。新入会員の皆様にも、同様にご請求いたしますのでよろしくお願いいたします。

皆さんこんにちは。入会して以来の卓話ですので非常に緊張しておりますがよろしくお願いたします。

私が瑞穂ロータリークラブ平成26年(2014年)4月17日に入会以来11年経ちました。今回理事会の皆様から会長エレクトにご推薦いただいたことに、驚きましたのと同時に、大変に光栄なことであり、心から感謝をさせていただき次第でございます。と、申しますも私の父森真佐雄も1989年に会長(第11代)を務めさせていただきました。平成23年に亡くなるまで瑞穂ロータリークラブにお世話になりました。そんなご縁がございますので、気を引き締めて瑞穂ロータリークラブの発展のためにも、懸命に会長エレクトを務めさせていただき所存でございますので、どうぞよろしくお願いたします。



私の入会の際のインニエーションスピーチから10年以上たち、その後に入会された会員の方も増えましたので、まずは自己紹介をさせていただきたいと思ひます。私の入会にあたりましては泉憲一さんと、お亡くなりになりましたが、本多理事のお父様の本多清治さんのご推薦を頂戴しました。特に泉さんからは三好カントリーでお会いすると、しばしば入会のお誘いを頂戴しておりましたので、11年前に意を決して入会をさせていただきました。

私は昭和29年甲午生まれの70歳です。生地は名古屋市中村区米屋町、現在の名駅三丁目の桜通りに面した家で生まれました。その後瑞穂区に引っ越をいたしまして、以来名古屋から一歩も出ずに現在に至っております。

思えば大学進学の際、東京の大学にも合格しておりましたが、学費の安さに負けて地元の大学に進学したのが、今日の瑞穂ロータリークラブでの私に連綿とつながっているのかなと、推察する次第であります。

私の生業であります、職業分類では鉄鋼卸売業となっておりますが、少し詳しく言いますと鉄鋼製品・窯業製品を主体とする総合インフラ資材の商社で、ほかに亜鉛メッキ加工の会社と橋梁用高欄の製作会社や、鉄鋼製品の加工会社、ベトナムで鉄鋼製品の加工、併せて名古屋駅前で賃貸ビル経営を行っており、2年後に創業100年を迎えます。

子供は男女2名で、二人とも現在県内の公立病院で勤務医になっております。孫はまだ一人です。

私の趣味でございますが、とりあえずは現在のところ時間を見つけてのクラシックのコンサートと寄席通い、出張にかこつけてささやかに美味しいものをいただき、ほどほどに美味しいお酒を頂戴することです。

そして一番注力している趣味は、中古LPレコード店漁りであります。学生のころから音楽に親しむことが好きでありましたので、現在の会社に入って仕事柄全国に出張に出ることが多いのを利用して、出張先で時間を見つけては最初は中古のCDを収集しておりました。15年ほど前からレコードが聴ける環境になりましたので、今はレコードの収集が中心となっております。

現在、いささか「病、膏肓に入る」の感があり、現在の在庫はLPレコードが17,000~18,000枚、CDが10,000枚程度でしょうか。リストを作っていないので詳細は分かりませんが、8畳間一間の天井まで埋め尽くし終わり、さらに隣の部屋まで侵食しはじめ、現在も着実に増加しております。その中でも後ほど触れます南米旅行で手に入れたレコードは、今でも宝物です。

観賞用の機器も、それなりに真空管アナログヴィンテージの機器、タンノイ・JBL、マランツ・マッキントッシュ、などの中古品をコツコツを集めて悦に入っております。人生の最後はこれまでの収集を生かして、レコード喫茶の親父で終わるのも有りかなど、不埒な考えも最近では頭をよぎっております。

ここでわたくしと瑞穂ロータリークラブの皆様との、最初のご縁についてお話をさせていただきたいと思ひます。私が瑞穂ロータリークラブの皆様と初めてお会いしたのは、昭和58年に瑞穂ロータリーの会員有志の方々の南米視察旅行に、父に命じられて同行させていただきました時であります。2~3週間ほどのスケジュールだったかと思ひますが、当時私は高校の講師をしておりましたので、勤務先の夏休みを利用して同行いたしました。とは申しまして父の考えは、一人で行くよりカバン持ちがいった方がよからうという程度のことだったかと思ひます。

もう40年以上前のことであり、当時は私も社会人に慣れておれず、無我夢中でありましたので、皆さんからいただいた名刺も無くしてしまったのが返す返す残念ではありますが、記憶の方は鮮明に残っておりますので、それをたどりながらお話をさせていただきます。

当然のことではあります、私にとりましては初対面の方々ばかりでしたが、記憶によると瑞穂ロータリークラブの初代会長で、日本ガイシ会

長・中経連会長をお勧めになられた鈴木俊雄様が、われわれのリーダーとしてご同行いただきました。

全部で10名程度のメンバーの方がおみえだったでしょうか。さきほども申し上げたように記録はございませんが、皆さんの顔の方はいまでも鮮明に記憶に残っております。私が入会した際に気が付いたのですが、その中でおひとりだけ、数年前にお亡くなりになりましたが、山田鎮浩様が例会におみえでした。

さてこの南米視察の目的であります、ご存じのように愛知県とブラジルは移民事業で、非常に縁の深い国であります。当時1983年にブラジル愛知県人会が発足25周年と、県人会館の開館を記念して愛知県の鈴木知事をお招きして式典が開かれました(県人会のHPに当時の写真が現在も掲載されています)。

また鈴木様も当時、名古屋駐在ブラジル連邦共和国名誉領事でありつやだったので、知事に同行されて愛知県の企業経営者・ロータリーの皆さんと同行することになったようです。確か一行のコーディネーターは、当時南米で事業をしてみえた徳倉建設の徳倉会長様だったと記憶しております。

当時は直行便はなく、ブラジルのヴァリグ航空に搭乗しまして、アメリカのロスアンゼルスとペルーのリマの二か所でのトランジットののち、36時間を要して長駆ブラジルのリオデジャネイロに到着いたしました(この間、2回機内でディナーをとりました)。私はこの時まで海外旅行の経験が無く、最初の海外旅行が日本から最遠の地ということになったわけです。

さて、一行はリオデジャネイロ滞在の後、サンパウロに移動してブラジル愛知県人会の行事に参加して現地の県人会の皆様に変な歓迎を受けました。行事終了後は、ブラジリアの日本大使館などを訪問・視察の後、私は父と現地の新日鉄さんやIHIさんなどを訪問、硬い旅行はここまででここからは先は大変楽しい旅行となりました。

リオデジャネイロでもサンバナイトを満喫しましたが、サンパウロではパウリスタと知己を得て楽しく過ごさせていただきました。その後、我々はアルゼンチンのブエノスアイレスに移動、当時のアルゼンチンの英雄ディエゴ・マラドーナが活躍していた、ボカ・ジュニアーズのスタジアムを訪れたり、夜は本場の情熱的なアルゼンチン・タンゴを堪能、その後ウルグアイに行き世界自然遺産の「イグアスの滝」を訪れましたが、水煙でほとんど全容はわからずじまいでした。そして再びサンパウロに移動しましたが、いったん私は一行の皆さんと離れさせていただきます、数日後再合流してペルーのリマに向かいました。

リマからは父と山田さんを含む数名の瑞穂ロータリーのメンバーの皆様と、標高3,000メートルを超すアンデス山中のクスコに到着、そこから現在の世界遺産人気NO.1の「マチュ・ピチュ遺跡」をおとすれました。全員高山病に苦しみながらの旅でありましたが、今日ほどマチュ・ピチュも観光客はあまり多くなく、雄大な歴史に大感激しながら皆さんとゆっくり遺跡を回ることができました。

当時のペルーは左翼ゲリラの活動が活発で、滞在中もリマ市内で爆弾テロが起きたり、マチュピチュ行きの列車内には山賊対策に自動小銃を携行した兵士が警備に同乗しており、非常に物騒な国情でありましたが、何と無事に帰ることができました。再びリマに帰り、2週間余りの視察を終えて再び36時間の空路ののち、日本に帰国いたしました。

長々とお話をいたしました、いまでも忘れぬ人生最高の旅に行くことができたのも、当時の瑞穂ロータリークラブの会員の皆様に変な親身に接していただき、かつ旅のわがままを許していただいたことは、すばらしい会員の皆様であったと、いまでも心から感謝しております。

今後の私のロータリー・ライフにあたり、このような人生の素晴らしい時間をいただいた瑞穂ロータリークラブの皆様を見習い、この経験を生かして今後もクラブの発展に微力ながら力を尽くしていく所存でございますので、これからも何卒よろしくお願いたします。

例会のご案内

■今 週 7月17日(木) R規定により休会

■次 週 7月24日(木) 第1回 CF (決算・予算)
場 所：ヒルトン名古屋4F 「桜の間」
時 間：12:30~

■次々週 7月31日(木) 第2回 CF (委員会方針)
場 所：ヒルトン名古屋4F 「桜の間」
時 間：12:30~